



絵コンテの 作りかた

① スミレ
ウキウキ♪



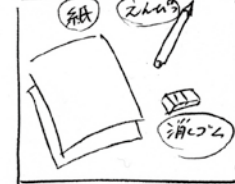
スミレ
「ちょっと画材店に
行ってきま〜す♪」

② 驚き




所長
「画材は
いらないよ」

③ シンプル




「これで〇.K」

④ 電車の中でも



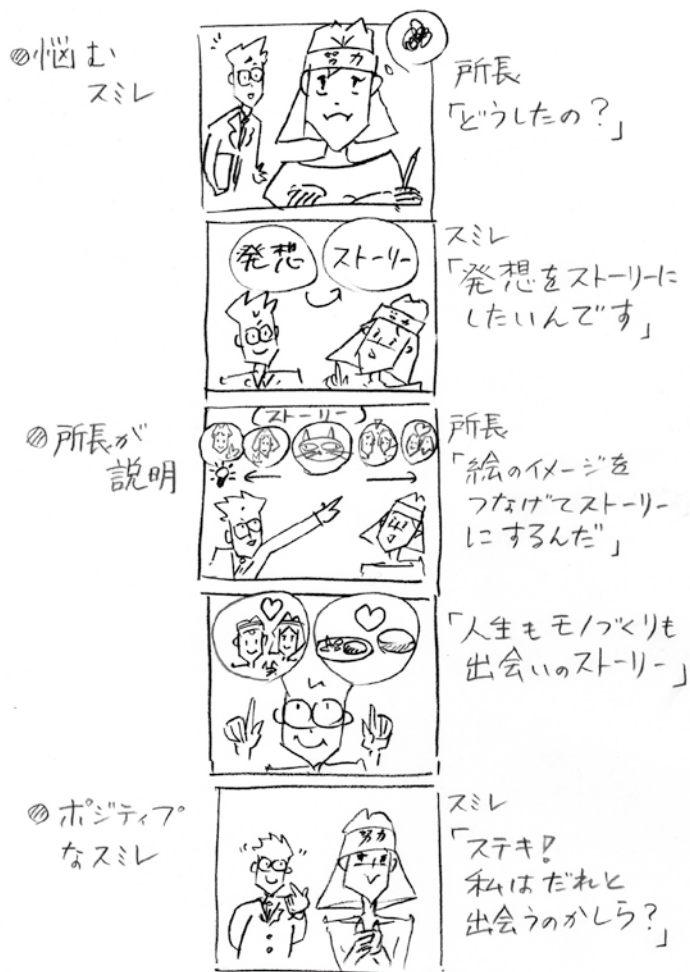
「だからいつでも
どこでも描ける
というワケ」

⑤ スミレ
が、が、り



スミレ
「画材店デビュー
た〜たのに...」

絵コンテは 発想のガーデン



決め手は美味しいストーリーのサンドイッチ

ここからはいよいよ絵コンテの描き方について説明します。

絵コンテを描くだけなら、サンドイッチと同じで誰にでも作れます。誰にでも作れるけれど、美味しいサンドイッチを作るとなると結構奥が深いものです。サンドイッチの決め手となるのが、パンの間に何を挟むか？ 絵コンテも最初の一枠目と最後の枠の間にどんな美味しいストーリーを挟むかが決め手です。



資料集めはちょっと待って！

発想と言うと、いきなり資料集めに走る人がいます。今はインターネットが主流だから、走らないかもしれませんが、とにかくまず落ち着いてください。

確かに私もサラリーマン時代、ときどき資料集めと称して、会社を抜け出しては遊んでいましたが、それはさておいて、資料が必要になるのはまだ当分先の話です。

資料集めからはじめるのは、貴重な時間を浪費するだけです。

ネット検索のつもりがネットサーフィンになってしまったり、何が重要なかわからないまま、山のように雑多な資料をかき集めて身動きが取れなくなったりと、発想の前提となる課題がハッキリしていないと、往々にしてそうなりがちです。

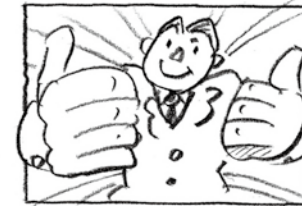
最悪なのは、資料集めだけで時間切れとなり、肝心の発想する時間が無くなってしまうことです。



絵コンテ発想法のポリシーはシンプルイズベスト！だから本当に資料が必要になるまで、パソコンの電源は切っておきましょう。

育てる植物も決まっていなのに肥料はいりません。

① 企画を
任がされて
はり切った
新人社員



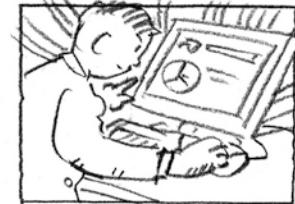
「ヨ～シ
がんばろぞ！」

② セオリ通り
資料集めを
始める



「まずは本だ！」

③ ネットでも



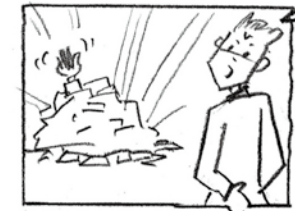
「ネットでも
もれなく
調べろぞ！」

④ 山積み
資料



「これだけ
資料があれば
完ぺきだ！」

⑤ 山に
埋れまわ



上司
「企画はできたか？
アレ、どこの
行たんた"アイツ"？」